

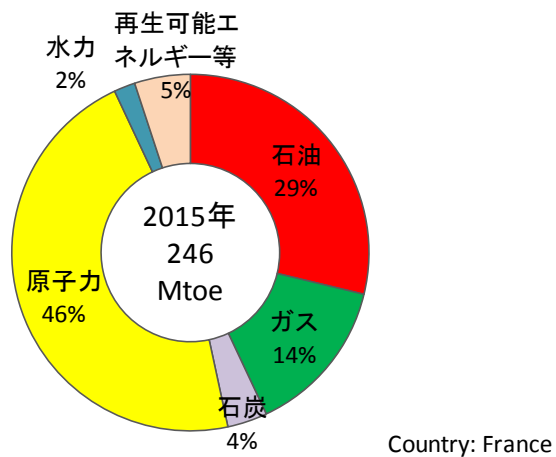
2-3 フランス

1. サマリー

1. エネルギー事情

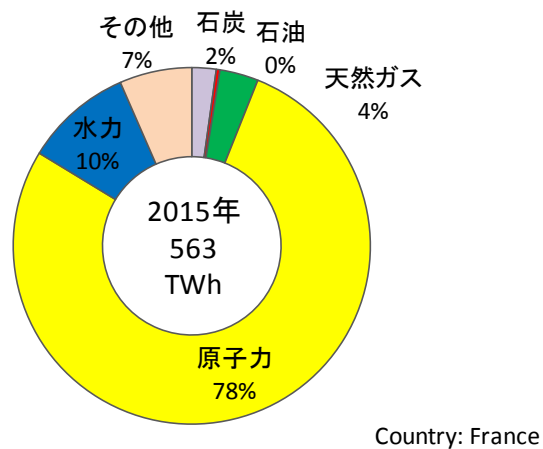
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 246 百万 toe (日本の0.56倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 3.70toe (日本の約1.08倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 56%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 285.7 百万 CO₂ 換算 ton (日本の24.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 4.32 CO₂ 換算 ton (日本の46.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015年末) : なし

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- フランスのエネルギー政策担当機関は経済・財務省 (Ministère de l'Économie et des Finances) および環境・エネルギー・海洋省 (Ministre de l' Environnement, de l' Énergie et de la Mer) である。
- 2016年12月現在、経済・財務大臣は Michel Sapin 氏で、環境・エネルギー・海洋大臣は Ségolène Royal 氏である。

(2) 基本政策

- エネルギー政策の主要な方針として、①エネルギー自給と供給保障、②割安で競争力のあるエネルギー価格、③地球温暖化対策④国民に対する平等なエネルギー供給を掲げている。

(3) 最近の動向

- 2016年8月、次回大統領選挙への出馬が噂される経済・産業・デジタル大臣の Emmanuel Macron 氏が辞任し、後任として Michel Sapin 財務大臣が兼務することとなった。
- 2015年8月、2025年までに原子力発電比率を現在の約75%から50%まで低減させること、2030年までに再生可能エネルギーの最終エネルギー消費量に占める比率を32%に引き上げること等を柱とした「エネルギー転換法」が制定された。
- 2015年12月、パリで COP21 が開催され、全ての締結国による CO₂ 等削減への取組みを前提とする 2020年以降の法的枠組みを定めたパリ協定が採択された。
- 2016年10月、フランス政府は「エネルギー転換法」を受け、再生可能エネルギーの開発や省エネなどを盛り込んだ、具体的な中期目標「複数年エネルギー計画」を決定した。
- イギリスでの Hinkley Point C 原発計画について、2016年7月に EDF による最終投資決定、同年9月にイギリス政府による承認がなされ、プロジェクトの実施が決定した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- フランスはエネルギー純輸入国であり、日本との間では、エネルギー分野における輸出入の関係はない。ただし、原子力分野において日本は、使用済核燃料を Areva に再処理委託している他、ウラン濃縮についても委託している。
- 2016年7月、Total のグループ会社 Total Gas & Power Asia と中国電力は、北米シェールガス由来の LNG を含み、契約価格指標として米国天然ガス価格を採用した長期 LNG 売買契約を締結した。
- 2016年12月、中部電力と東京電力ホールディングス子会社が共同出資する JERA が EDF の石炭トレーディング事業を統合することで最終合意したことを発表した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: France

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		246 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		3.70 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.09 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		56 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		285.7 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		4.32 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	4 %
	石油	29 %
	天然ガス	14 %
	原子力	46 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	5 %
(8) エネルギーの輸入依存度		44 %
(9) 石油の輸入依存度		99 %
(10) 輸入原油の中東依存度		25.2 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア
	第2位	カザフスタン
	第3位	ナイジェリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA